

# 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道375号湯抱バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	島根県						
起終点	自：島根県邑智郡美郷町湯抱 至：島根県邑智郡美郷町別府			延長	3.6 km							
事業概要	<p>一般国道375号は、広島県呉市を起点とし、島根県大田市に至る延長約17.6kmの幹線道路である。湯抱バイパスは、線形不良、幅員狭小及び防災点検要対策箇所の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、島根県美郷町湯抱から同町別府に至る延長3.6kmの2車線道路である。</p>											
H8年度事業化	都市計画決定なし		H9年度用地着手	H10年度工事着手								
全体事業費	約108億円		事業進捗率	4.4%	供用済延長	1.3 km						
計画交通量	2,720台/日（平成42年度）											
費用対効果分析結果	B/C（事業全体） 1.3 B/C（残事業） 1.8	総費用（残事業）/（事業全体） 47/101 億円 事業費：46/99 億円 維持管理費：1/2 億円	総便益（残事業）/（事業全体） 85/127 億円 走行時間短縮便益：80/120 億円 走行費用減少便益：4/6 億円 交通事故減少便益：1/1 億円	基準年 平成17年								
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施											
交通量変動	B/C=2.1（交通量 +10%）		B/C=1.4（交通量 -10%）									
事業費変動	B/C=1.6（事業費 +10%）		B/C=1.9（事業費 -10%）									
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流効率化の支援（現道における、総重量25tの車両が通行できない区間を解消する。）</li> <li>安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。）</li> <li>災害への備え（緊急輸送道路ネットワークが形成される。）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他7項目に該当</p>											
関係する地方公共団体等の意見	一般国道375号湯抱バイパスは、広島県三次市をはじめとする関係市町、商工会議所及び観光協会等で構成される「国道375号（大田・三次間）改良促進期成同盟会」より早期整備の要望を受けている。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	美郷町周辺の道路整備が進み、近年交通量が増加している。また、一般国道375号作木大和道路の平成18年供用、史跡石見銀山（世界遺産候補）への観光アクセス等を考慮して交通量の増加が見込まれる。											
事業の進捗状況、残事業の内容等	別府地区については、平成17年度末の供用を図る。湯抱地区については、個々に用地交渉を進めており、平成18年の用地買収完了を目標に早期供用を目指して事業展開を図る。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	山岳道路でありトンネル・橋りょう等の構造物区間が多く、長い施工期間を要する。今後も構造物区間が多いが早期供用を目指して事業展開を図る。											
施設の構造や工法の変更等	トンネル区間の工法選定検討により、コスト縮減を図っている。（トンネル延長の減等） 歩行者の実態を調査し、別府地区の歩行者道を省略することにより、コスト縮減を図っている。											
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	以上のことを勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。											
事業概要図	<p>事業評価区間</p> <p>評価箇所</p> <p>凡例</p> <table border="1"> <tr> <td>■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>▨</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>▩</td> <td>うち供用中</td> </tr> </table> <p>湯抱バイパス L=3.6 km</p> <p>湯抱トンネル L=283 m</p> <p>湯抱橋 L=90 m</p> <p>移ろ橋トンネル L=752 m</p> <p>殿座大橋 L=141 m</p> <p>別府トンネル L=472 m</p> <p>殿座大橋 L=175 m</p> <p>別府地区</p> <p>湯抱地区</p> <p>至 広島県</p> <p>至 大田市</p>						■	供用中	▨	再評価箇所	▩	うち供用中
■	供用中											
▨	再評価箇所											
▩	うち供用中											

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。